



移動期日前投票所を 導入する考えは

馬淵 紀明議員

課題がある 様々な視点で考えていく
総務部長

年齢	投票率		
	男	女	計
18歳	36.91	38	37.44
19歳	25.95	35.35	30.31
小計	31.21	36.68	33.81
20～29	26.02	29.28	27.64
30～39	31.67	36.96	34.26
40～49	40.45	45.79	43.06
50～59	46.24	50.94	48.54
60～69	59.43	64.19	61.87
70～79	67.49	66.61	67.02
80歳以上	57.21	43.25	48.83
合計	47.82	49.97	48.93

令和4年4月24日執行 愛西市議会議員一般選挙

▲4月に行われた市議会議員選挙の投票率

問 高齢化が進む中、高齢者への選挙交通手段が全国的に課題となつている。本市は、高齢交通弱者への対策は何を行っているのか。

答 期日前投票制度や、条件はあるが、郵便等による不在者投票制度を活用して欲しい。

問 今後、高齢化が進むと投票所への交通手段の確保が難しい有権者が増えるのではないかと思う。

答 投票管理者や立会人の確保や職員の体制、セキュリティなど多くの課題がある。選挙管理委員会の中で様々な視点から考えていく。

公共施設バリアフリー化の推進を

問 本市の公共施設のバリアフリー化は、どのように進めていくのか。

答 公共施設のバリアフリーに関する整備等は、バリアフリー法や関係条例によって義務づけられている。公共施設等個別施設計画等により施設改修の機会を捉え、計画的な整備を実施していく必要があると考えている。

答 近年、社会的障壁の除去が求められる社会情勢において、バリアフリー法などに基づく対応は必要だと考えているが、現段階で計画の策定は定ではない。

問 公共施設全体のバリアフリー化について、市長の考えは。

答 市として、現状をしっかり把握しながら適宜対応していくべきだが、一斉に対応することは当然難しい部分もある。

問 自治体によっては基本構想等を策定し、計画的にバリアフリー化を進めているところもある。本市も優先順位、また優先箇所を決め、高齢者、身体障がい者のみならず、全ての障がい者、また妊婦、乳幼児を連れた方々の意見を取り入れながら進めていくべきと考える。計画をつくる予定はないのか。